



FIBER

繊維学会誌

The Society of Fiber Science and Technology, Japan

||| 繊維と工業 ||| Reviews and News

||| 報 文 ||| Original Articles



2014 Vol.70

11

領域をこえ 未来へ



次の時代を、始めています。

革新的価値の創造 未来と世界への貢献 環境・社会との共生

王子グループは、社会の幅広い分野で価値観の変化を機敏に察知し、斬新な発想による「チャレンジングなモノづくり」を通じて、あらゆる国・地域・社会に「革新的な価値」を提供し、新しい未来を創造するグローバルな企業を目指します。

また、地球上の自然を大切に守り、ともに繁栄しつづけるために、環境問題に積極的に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献します。

京都工芸繊維大学



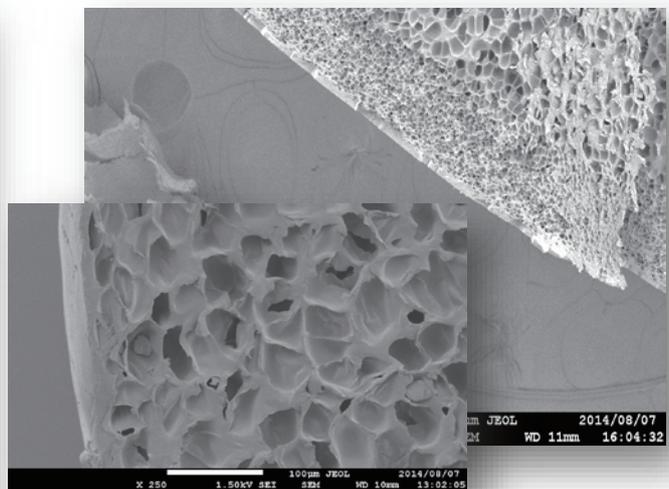
工芸科学研究科 先端ファイブロ科学専攻 複合機能工学グループ

教授 鋤柄佐千子
准教授 奥林里子

- テキスタイルや不織布の物性評価
- 布の風合いと五感で測れる特性
- 糸と織物，編物の相互関係評価
- 消費者のニーズにあった繊維素材の官能評価法の開発



布の光学特性試験



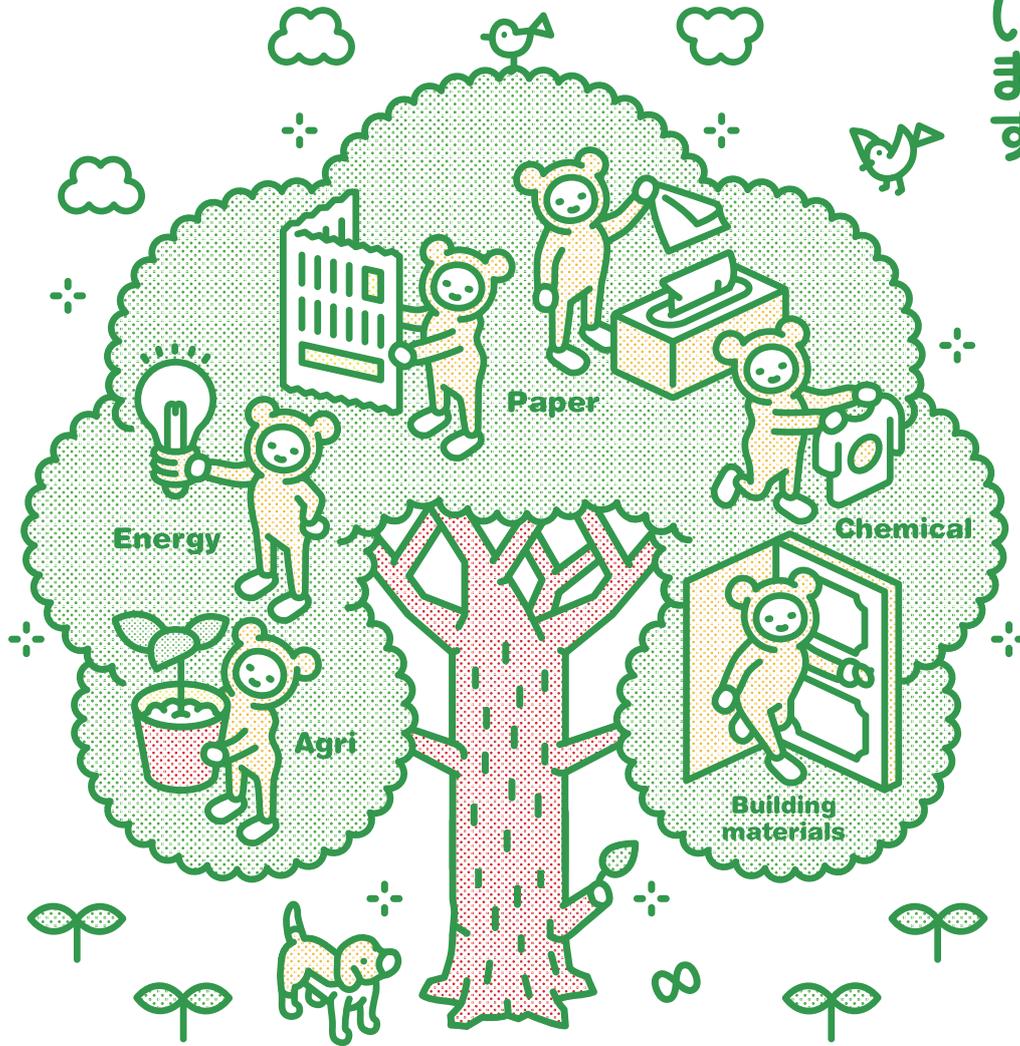
超臨界発泡高分子断面

- 超臨界二酸化炭素を用いた繊維・高分子材料の染色/仕上・洗浄・発泡
- 電子線照射による繊維・高分子材料の改質
- イオンビームによる有機無機ハイブリッド材料の創製

I'm **ニッポン!**

木の可能性—日本製紙のモノづくり。

紙だけではありません。
暮らしのあちこちで、
木を活かしています。



私たちは紙だけでなく、木材・製材品や合板、レーヨン原料、食品・化粧品に使われる添加物など、暮らしを支える様々なものを生み出しています。近年では、紙づくりで培ってきた技術を活かし木から電気をつくるなど、新たな可能性を追求しています。

中でも、木の繊維をナノレベルまでに解きほぐしたセルロースナノファイバーは、世界最先端のバイオマスナノ素材です。日本製紙は、木を無駄なく活用する高度な技術力で、持続可能な社会の構築に貢献していきます。



日本製紙株式会社

東京都千代田区神田駿河台4-6 御茶ノ水ソランティ 〒101-0062 TEL.03-6665-1111
www.nipponpapergroup.com

NIPPONPAPER
日本製紙のニボバです。

“繊維”を 知りたい！ 信州大学 繊維学部発 学びたい！ テキスタイル工学のバイブル完成！！

最新テキスタイル工学 I 最新テキスタイル工学 II

— 繊維製品の心地を数値化するためには —

— 繊維製品に用いられている糸、布とは —

- ▶ 人材育成・教育用に
- ▶ 技術開発・商品企画に
- ▶ 産学官連携へのアプローチに

次代に継承する繊維技術を網羅した全2巻
今すぐご活用ください！！

- 最新テキスタイル工学 I
● 販売価格 2,900円
(本体 2,500円+税 200円+送料 200円)
- 最新テキスタイル工学 II
● 販売価格 3,440円
(本体 3,000円+税 240円+送料 200円)

● 編著：西松 豊典
(信州大学 繊維学部 教授)

本書の内容

最新テキスタイル工学 I

— 繊維製品の心地を数値化するためには —
● A5判 220ページ カバー巻き

はじめに

第1章 背広服(スーツ)の「着心地」を数値化するには
……信州大学 繊維学部 先進繊維工学課程 教授 西松 豊典

1.1 はじめに
1.2 服飾史に見る背広服
1.3 「着心地 (clothing comfort)」とは
1.4 背広服上衣の「着心地」を数値化するには
1.5 おわりに

第2章 「快適性(心地)」を評価する官能検査とは
……信州大学 繊維学部 先進繊維工学課程 教授 西松 豊典

2.1 人間快適工学とは
2.2 感性情報とは
2.3 視覚と触知覚について
2.4 官能検査を行うには

第3章 シミュレーション
……信州大学 繊維学部 感性工学課程 教授 乾 滋

3.1 シミュレーションとは
3.2 テキスタイル・衣服のシミュレーション

第4章 生理的機能量の測定
……信州大学 繊維学部 先進繊維工学課程 准教授 金井 博幸

4.1 はじめに
4.2 生理的機能量とその役割
4.3 生理的機能量の分類
4.4 心電図
4.5 脳波
4.6 筋電図

第5章 繊維製品の物理量を測定するには
……信州大学 繊維学部 先進繊維工学課程 教授 木村 裕和
……(5.6 嗅覚に関連する物理量の測定)
信州大学 繊維学部 先進繊維工学課程 准教授 金井 博幸

5.1 はじめに
5.2 測定とは
(感度、精度、有効数字、測定回数)
5.3 触知覚に関連する物理量
(機械的性質)の測定
5.4 触知覚に関連する物理量
(機能的特性)の測定

5.5 視覚に関連する物理量の測定
5.6 嗅覚に関連する物理量の測定
5.7 工業規格類を利用する際の留意事項

第6章 繊維製品の「心地」と物理量の関係は多変量解析で
……信州大学 繊維学部 先進繊維工学課程 教授 西松 豊典

6.1 はじめに
6.2 相関分析とは
6.3 主成分分析
6.4 重回帰分析

索引

最新テキスタイル工学 II

— 繊維製品に用いられている糸、布とは —
● A5判 320ページ カバー巻き

はじめに

第1章 繊維製品
……信州大学 繊維学部 先進繊維工学課程 教授 木村 裕和

1.1 はじめに
1.2 アパレル製品
1.3 スポーツウェア
1.4 高齢者用衣料品
1.5 インテリア製品
1.6 ジオテキスタイル
1.7 自動車用関連製品
1.8 医療関連製品

第2章 繊維原料
……福井大学 大学院工学研究科 教授 田上 秀一
……福井大学 大学院工学研究科 講師 植松 英之
……信州大学 名誉教授 松本 陽一
……(株)AOKI 商品開発室長 室長 柴田 清弘

2.1 はじめに
2.2 繊維原料の歴史
2.3 天然繊維
2.4 化学繊維
2.5 今後の繊維材料の課題

第3章 紡績工学
……信州大学 名誉教授 松本 陽一

3.1 はじめに
3.2 糸づくりの歴史
3.3 よい糸の条件
3.4 糸の表示方法
3.5 糸の分類と種類
3.6 紡績工程

3.7 糸の試験方法と糸むらの評価方法
3.8 新しい紡績技術の開発
3.9 課題

第4章 製布工学
……信州大学 繊維学部 先進繊維工学課程 教授 西松 豊典
……東京都立産業技術センター 多摩テクノプラザ 所長 近藤 幹也

4.1 はじめに
4.2 布の歴史
4.3 皮革
4.4 合成皮革と人工皮革
4.5 織物について
4.6 編物(ニット)
4.7 織物分解、編物分解
4.8 不織布
4.9 課題

第5章 染色加工・機能加工
……信州大学 副学長 繊維学部長 教授 濱田 州博

5.1 はじめに
5.2 染色の歴史
5.3 染料と染色加工
5.4 染色加工の前処理(準備工程)
5.5 染色性の評価法
5.6 仕上げ加工・機能加工

第6章 衣服の設計と生産
……信州大学 国際ファイバー工学研究所 教授 高寺 政行
……信州大学 国際ファイバー工学研究所 助教 金 屋

6.1 はじめに
6.2 既製服の設計・生産
6.3 既製服の設計
6.4 生地と副資材の選択
6.5 衣服のターゲットとサイズ
6.6 衣服のデザイン要素
6.7 パターン設計
6.8 既製服の生産
6.9 CAD・CAMとシミュレーション

第7章 衣服の洗濯
……ライオン(株) ファブリックケア研究所 蓼沼 裕彦
……ライオン(株) ファブリックケア研究所 宮原 岳彦

7.1 はじめに
7.2 衣服の汚れ
7.3 家庭用洗濯洗剤と漂白剤
7.4 おしゃれ着洗濯
7.5 衣服用仕上げ剤
7.6 おわりに

第8章 日本の繊維産地
……地方独立法人 大阪府立産業技術研究所 山本 貴則

索引

お申し込みは — 電話 / HP / E-mail で！



株式会社 繊維社 企画出版

〒541-0056
大阪市中央区久太郎町1-9-29 (東本町ビル5F)
Tel. (06) 6251-3973 Fax. (06) 6263-1899
E-mail: info@sen-i.co.jp http://www.sen-i.co.jp

織 維 学 会 誌

平成 26 年 11 月 第 70 卷 第 11 号 通卷 第 824 号

目 次

繊維と工業(Reviews and News)

- 【時 評】** 日本紡績協会の現状と課題 能條 武夫 ... P-699
- 【解 説】** 〔技術評論〕新産業創成に向けて欧米と日本の違い－燃料エタノールを例として－
= 地方再生の切り札 = 瓜生 敏之・鬘谷 要 ... P-700
- 糖質を利用した染色・繊維加工技術 大江 猛・吉村由利香 ... P-703
- 【連 載】** 〈文化の伝承－祭り－12〉
長濱祭 — 大分県 長濱神社 地方都市の夏祭り — 古田 裕樹 ... P-708
- 〈業界マイスターに学ぶせんいの基礎講座－2〉
第 1 編 繊維の基礎知識 北村 和之・井塚 淑夫・向山 泰司 ... P-713
- 〈溶融紡糸の原点〉
溶融紡糸の原点(7) 小野 輝道 ... P-731
- 【繊維学会創立70周年記念連載】** 〈技術が支えた日本の繊維産業－生産・販売・商品開発の歩み－14〉
綿紡織業の盛衰(1) 松下 義弘 ... P-738
- 【レポート】** 一般社団法人 繊維学会創立 70 周年記念事業－記念式典・記念講演会・記念祝賀会報告－
..... 岩田 忠久 ... P-747
- 【海外ニュースレター】** P-751
- 【追 悼】** 石川欣造先生を偲んで 谷岡 明彦 ... P-753

報 文(Original Articles)

- 【一般報文】** Recycling Effects on the Properties of Pulp Fiber Sheets Produced from Oil Palm Empty Fruit
Bunch Ryota Kose, Teruki Kimura, Mustafa Kamal Abdul Aziz,
and Takayuki Okayama ... 259
- 平編編成域での結び目による糸切れ率に及ぼす糸と編成要素との摩擦係数の影響についての
理論的解析 村山 和弘・小野寺泰子・西村 真次・追沼 龍三 ... 265
- 超音波を利用した繊維集合体の高性能洗浄法の検討
..... 後藤 景子・中谷 博美・徳安恵理菜 ... 273

Journal of the Society of Fiber Science and Technology, Japan

Vol. 70, No. 11 (November 2014)

Contents

[Reviews and News]

〈Foreword〉

The Present Situation and Problem of Japan Spinners' Association Takeo NOJO ... P-699

〈Review〉

A Big Difference in Research and Development between Western Countries and Japan

– Fuel Ethanol Production as an Example –

– A Key Technology for Rural Society Revolution in Japan –

..... Toshiyuki URYU and Kaname KATSURAYA ... P-700

Dyeing and Textile Finishing Technologies by Using Sugars

..... Takeru OHE and Yurika YOSHIMURA ... P-703

〈Series of Cultural Tradition Associated with Festivals 12〉

Nagahama Festival – A Local Summer Festival of Nagahama Shrine in Oita Prefecture –

..... Hiroki FURUTA ... P-708

〈Series on Fiber Basic Course Lectured by Professional Engineers-2〉

Basic Knowledge of Fibers ... Kazuyuki KITAMURA, Yoshio IZUKA, and Taiji MUKAIYAMA ... P-713

〈Series on Origin of Melt-Spinning Technology〉

Origin of Melt-Spinning Technology (7) Terumichi ONO ... P-731

〈Series of Historical Reviews of Japanese Textile Industry Supported by the Technology

– History of the Production, Sales, and Product Development-14〉

Rise and Fall of Cotton Spinning and Weaving Industries (1)..... Yoshihiro MATSUSHITA ... P-738

〈Report〉

The 70th Anniversary of The Society of Fiber Science and Technology, Japan.

– Commemorative Ceremony, Lecture, and Celebration –

..... Tadahisa IWATA ... P-747

〈Foreign News Letter〉 P-751

〈Obituary〉 Akihiko TANIOKA ... P-753

[Original Articles]

〈Transactions〉

Recycling Effects on the Properties of Pulp Fiber Sheets Produced from Oil Palm Empty Fruit Bunch

..... Ryota KOSE, Teruki KIMURA, Mustafa Kamal Abdul AZIZ,
and Takayuki OKAYAMA ... 259

Theoretical Analyses on the Effect of the Frictional Coefficient of Yarn/Knitting

Elements on End Breakage Rate due to Knots in Plain Knitting Zone

..... Kazuhiro MURAYAMA, Taiko ONODERA, Shinji NISHIMURA,
and Ryuzo OINUMA ... 265

High Performance Cleaning of Fibrous Assemblies with Applying Ultrasound

..... Keiko GOTOH, Hiromi NAKATANI, and Erina TOKUYASU ... 273

Sen'i Gakkaishi

(*Journal of the Society of Fiber Science and Technology, Japan*)

Vol.70 No.11

November 2014

CONTENTS OF ORIGINAL ARTICLES EDITION

[Transactions]

- Recycling Effects on the Properties of Pulp Fiber Sheets Produced from Oil Palm Empty Fruit Bunch
..... Ryota Kose, Teruki Kimura, Mustafa Kamal Abdul Aziz,
and Takayuki Okayama ... 259
- Theoretical Analyses on the Effect of the Frictional Coefficient of Yarn/Knitting
Elements on End Breakage Rate due to Knots in Plain Knitting Zone
..... Kazuhiro Murayama, Taiko Onodera, Shinji Nishimura, and Ryuzo Oinuma ... 265
- High Performance Cleaning of Fibrous Assemblies with Applying Ultrasound
..... Keiko Gotoh, Hiromi Nakatani, and Erina Tokuyasu ... 273

Published by

Sen'i Gakkai (The Society of Fiber Science and Technology, Japan)

3-3-9-208, Kami-osaki, Shinagawa-ku, Tokyo 141-0021, Japan

繊維学会誌「報文」活性化と正確な引用文献表記をお願い致します — 繊維学会誌引用の際は“Sen’i Gakkaishi”と表記してください —

繊維学会誌では論文誌としての価値を高めて、より一層会員の皆様、投稿者の皆様に貢献したいと考えております。

これまで以上に積極的な御投稿をお願い申し上げますとともに、本誌を含め各種学術雑誌に研究成果を御発表されます場合には、繊維学会誌の積極的な引用についても併せてお願い申し上げます。

特に引用を頂く際には、誌名の正確な綴りにもご留意いただきますようお願いいたします。現在の繊維学会誌「報文」は、“Sen’i Gakkaishi”(n と i の間はアポストロフィでハイフンではありません)の表記をお使いいただきますようお願いいたします。

投稿時の体裁変更のお知らせ

これまで、投稿していただく際にカメラレディー形式に整えていただくことをお願いして参りましたが、今般印刷システムの見直しにより、カメラレディー形式での投稿は必須ではなくなりました。

テキストデータ、図表データを別々のファイルでご用意いただき、図表の差し込み位置が分かるように本文中に示していただければ、ベタ打ちで投稿いただけます。図、写真は jpeg 形式で、表はテキスト情報が抽出可能な word 等で作成してください。その際本文は A4 判に 10.5 から 12 ポイントのサイズで、改行幅は 1.5 行程度に設定してください。

また、図表のレイアウトや大きさなど著者の体裁上のご希望を予めお伝えいただけ、ページ数の見積もりも可能なため、これまで同様カメラレディー形式に整えていただいても結構です。カメラレディーひな形はホームページからダウンロードしていただけます。

投稿の際の負担を軽減することで、より迅速快適に研究成果をご発表いただけるようになりました。今後とも繊維学会誌への積極的なご投稿をお待ちしております。

「報文」編集委員 Sen’i Gakkaishi, Editorial Board

編集委員長 Editor in Chief	鬯谷 要(和洋女子大学大学院) Kaname Katsuraya	編集副委員長 Vice-Editor	塩谷 正俊(東京工業大学大学院) Masatoshi Shioya
編集委員 Associate Editors	河原 豊(群馬大学大学院) Yutaka Kawahara	木村 邦生(岡山大学大学院) Kunio Kimura	久保野 敦史(静岡大学) Atsushi Kubono
	澤渡 千枝(静岡大学) Chie Sawatari	鋤柄 佐千子(京都工芸繊維大学大学院) Sachiko Sukigara	高寺 政行(信州大学) Masayuki Takatera
	武野 明義(岐阜大学) Akiyoshi Takeno	趙 顯或(釜山大学校) Hyun Hok Cho	登阪 雅聡(京都大学) Masatoshi Tosaka
	久田 研次(福井大学大学院) Kenji Hisada	菅井 清美(新潟県立大学) Kiyomi Sugai	山根 秀樹(京都工芸繊維大学大学院) Hideki Yamane
	吉水 広明(名古屋工業大学大学院) Hiroaki Yoshimizu	和田 昌久(京都大学大学院) Masahisa Wada	

The Society of Fiber Science and Technology, Japan (2014 & 2015)

President T. Kikutani (Tokyo Institute of Technology)

Vice-Presidents T. Kanaya (Kyoto University)
K. Hamada (Shinshu University)
H. Murase (Toyobo Co., Ltd.)

Member-promoting Officer M. Tokita (Tokyo Institute of Technology)

Editor in Chief “Sen’i to Kogyo” A. Tsuchida (Gifu University)

Editor in Chief “Sen’i Gakkaishi” K. Katsuraya (Wayo Women’s University)

Treasurers H. Oikawa (Tohoku University)
K. Ogino (Tokyo University of Agriculture & Technology)
K. Inomata (Nagoya Institute of Technology)
K. Hisada (University of Fukui)

H. Urakawa (Kyoto Institute of Technology)

K. Tanaka (Kyushu University)

Planning Officers T. Iwata (The University of Tokyo)

M. Aoyama (Toray Industries, Inc)

K. Katsuraya (Wayo Women’s University)

A. Tsuchida (Gifu University)

K. Ogino (Tokyo University of Agriculture & Technology)

開催年月日	講演会・討論会等開催名(開催地)	掲載頁
26. 11. 1(土) 11. 8(土) 11. 15(土)	平成 26 年度繊維ベーシック講座大阪会場(大阪府・大阪産業創造館)	A6
11. 8(土) 11. 22(土) 11. 29(土)	平成 26 年度繊維ベーシック講座福井会場(福井県・福井県中小企業産業大学校)	A6
11. 13(木)	高分子材料の耐久性評価に関する講習会(大阪市・大阪市立大学交流センター)	A7
11. 13(木) 14(金)	第 33 回無機高分子研究討論会(東京都・東京理科大学記念講堂)	A7
11. 14(金)	第 38 回先端繊維素材研究委員会講演会・第 42 回繊維加工シンポジウム—スポーツ産業と繊維素材(オリンピックと繊維)—(宇治市・京都大学宇治キャンパス)	A4
11. 15(土) 11. 22(土) 11. 29(土)	平成 26 年度繊維ベーシック講座東京会場(東京都・機械振興会館)	A6
11. 21(金)	繊維機械メーカー「村田機械(株)」見学会(京都市・村田機械(株))	A6
11. 22(土) 11. 29(土)	平成 26 年度繊維ベーシック講座名古屋会場(愛知県・愛知県産業労働センター)	A6
11. 26(水) 27(木)	「ANFA 不織布カンファレンス 2014」(大阪市・太閤園)	A8
11. 27(木)	繊維の応用講座『医療・介護・ヘルスケアの最前線と繊維の関わり』—“すこやか”な社会を繊維で紡ぐ—(東京都・キャンパスイノベーションセンター)	A3
11. 27(木)	第 2 回産学官連携シンポジウム(東京都・早稲田大学西早稲田キャンパス 55 号館)	A7
12. 3(水) 4(木)	第 29 回ジオシンセティックスシンポジウム(東京都・(公社)地盤工学会 JGS 会館)	A7
12. 6(土)	繊維学会創立 70 周年記念事業 第 41 回「感性研究フォーラム」講演会 おもてなしの感性(京都市・京都工芸繊維大学)	A5
12. 6(土) 7(日)	第 38 回人間—生活環境系シンポジウム(長崎)(長崎県・長崎県立大学シーボルト校)	A7
12. 8(月) ~10(水)	第 41 回炭素材料学会年会(大野城市・大野城まとかぴあ)	A8
12. 9(火)	特別セミナー「スマート社会を担うエネルギー技術」(大阪市・(地独)大阪市立工業研究所大講堂)	A7
12. 10(水)	基礎から学ぶレオロジー「押出成形とレオロジー」(東京都・ヒューリック浅草橋ビル)	A8
12. 12(金)	ナノ粒子の安全性と応用の最先端—ナノが拓く未来の世界—(神戸市・甲南大学フロンティアサイエンス学部)	A8
12. 13(土)	第 28 回東海支部若手繊維研究会(名古屋市・椋山女学園大学)	A6
12. 19(金)	繊維学会西部支部 講演会・見学会(延岡市・旭化成 向陽倶楽部内・ベンベルグ工場)	A5
12. 19(金)	第 44 回 CPD(繊維技術)講演会(大阪市・大阪産業創造館)	A6
	繊維学会誌広告掲載募集要領・広告掲載申込書	平成22年 6 月号
	繊維学会定款(平成24年 4 月 1 日改訂)	平成24年 3 月号
	Individual Membership Application Form	平成24年12月号
	繊維学会誌報文投稿規定(平成24年 1 月 1 日改訂)	平成26年 1 月号
	訂正・変更届用紙	平成26年 3 月号

「繊維と工業」編集委員

編集委員長 土田 亮(岐阜大学)
 編集副委員長 鬘谷 要(和洋女子大学大学院) 出口 潤子(旭化成せんい(株))
 編集委員 植野 彰文(KBセーレン(株)) 大島 直久(東海染工(株)) 金 翼水(信州大学) 小寺 芳伸(三菱レイヨン(株))
 澤田 和也(大阪成蹊短期大学) 高崎 緑(宮城教育大) 寺本 喜彦(東洋紡(株)) 西田 幸次(京都大学化学研究所)
 増田 正人(東レ(株)) 村上 泰(信州大学) 八重田 徹(王子ホールディングス(株)) 山田 秀夫(帝人(株))
 吉田 耕二(ユニカトレーディング(株))
 顧問 浦川 宏(京都工芸繊維大学大学院)

平成26年度繊維学会主要行事予定

行 事 名	開 催 日	開 催 場 所
繊維の応用講座	平成26年11月27日(木)	キャンパスイノベーションセンター(CIC 田町)
2015 年学術ミキサー	平成27年 1 月23日(金)	東大セイホクギャラリー
特別 繊維技術講座	平成27年 2 月20日(金)	キャンパスイノベーションセンター(CIC 田町)

平成27年度繊維学会主要行事予定

行 事 名	開 催 日	開 催 場 所
平成27年度年次大会	平成27年 6 月10日(水)～6 月12日(金)	タワーホール船堀(東京都江戸川区)
第45回夏季セミナー	平成27年 7 月29日(水)～7 月31日(金)	北九州国際会議場(小倉)

平成 26 年度繊維学会各賞授賞候補者募集

当学会では、功績賞、学会賞、技術賞、論文賞、奨励賞、紙・パルプ論文賞を設け、一般会員より広く推薦を求めています。奮ってご推薦または応募ください。なお、論文賞は、一般公募をせず、論文賞選考委員によりその年の本学会誌に投稿されました報文から選考されます。

推薦(応募)期限は平成 26 年 12 月 25 日(木)となっていますので、ご注意ください。推薦書類はホームページの「学会賞」欄の学会賞についてからダウンロードして使用してください。お問い合わせは下記の本部または各支部にご連絡ください。

1. 繊維学会功績賞

- ① 対象：年齢満 60 歳以上の本学会員で繊維学会の発展に顕著な業績をあげた者、または繊維科学あるいは繊維工業の発展に優れた業績をあげた者。
- ② 表彰の件数：5 件以内。

2. 繊維学会賞

- ① 対象：受賞年(平成 27 年)の 4 月 1 日において 51 歳未満の本学会員で、繊維科学について、独創的で優秀な研究を行い、更に研究の発展が期待される研究者。
- ② 表彰の件数：2 件以内。

3. 技術賞

- ① 対象：本学会員(維持・賛助会員を含む)で、繊維に関する技術について、優秀な研究、発明または開発を行い、繊維工業の発展に貢献した個人またはグループ。
- ② 表彰の件数：技術部門 3 件以内、市場部門 1 件以内。

4. 論文賞

- ① 本学会員で、繊維科学および繊維技術に関し、その年の本学会誌(平成 25 年 1 月号～12 月号)に報文(論文)を発表した研究者。
- ② 表彰の件数：3 件以内。

5. 奨励賞(本年度新設)

- ① 受賞年(平成 27 年)の 4 月 1 日において 36 歳未満の本学会員で、繊維科学もしくは繊維技術について優秀な研究を行い、今後も継続して期待ができる新進気鋭の研究者。
- ② 表彰の件数：3 件以内。

6. 紙・パルプ論文賞

- ① 対象：授賞年(平成 27 年)の 4 月 1 日において 40 歳未満の本学会員で、過去 5 年間に本学会誌に論文 2 編以上を公表した新進気鋭の研究者。
- ② 表彰の件数：1 件以内。

問合せ先

本部 一般社団法人 繊維学会事務局 〒141-0021 東京都品川区上大崎 3-3-9-208
TEL: 03-3441-5627 FAX: 03-3441-3260 E-mail: office@fiber.or.jp

支 部 名	支部長名	所 在 地	TEL & E-mail
東北・北海道支部	及川 英俊	〒980-8577 宮城県仙台市青葉区片平 2-1-1 東北大学多元物質科学研究所	022-217-6357 oikawah@tagen.tohoku.ac.jp
関 東 支 部	荻野 賢司	〒184-8588 東京都小金井市中町 2-24-16 東京農工大学大学院工学研究院 応用化学部門	042-388-7404 kogino@cc.tuat.ac.jp
東 海 支 部	猪股 克弘	〒468-8511 愛知県名古屋市昭和区御器所町 名古屋工業大学大学院 しくみ領域 工学研究科	052-735-5274 inomata.katsuhiko@nitech.ac.jp
北 陸 支 部	久田 研次	〒910-8507 福井県福井市文京 3-9-1 福井大学大学院 工学研究科 繊維先端工学専攻	0776-27-8574 k-hisada@u-fukui.ac.jp
関 西 支 部	浦川 宏	〒606-8585 京都府京都市左京区松ヶ崎橋上町 1 京都工芸繊維大学大学院 工芸科学研究科	075-724-7567 urakawa@kit.jp
西 部 支 部	田中 敬二	〒819-0395 福岡県福岡市西区元岡 744 九州大学大学院工学研究院 応用化学部門	092-802-2878 k-tanaka@cstf.kyushu-u.ac.jp

繊維の応用講座
『医療・介護・ヘルスケアの最前線と繊維の関わり』
— “すこやか” な社会を繊維で紡ぐ —

健康で長生きしたい、誰しものが望む願望だと思います。その願望を支える最先端の医療やヘルスケア、そして介護分野でご活躍の講師の先生方をお招きした講演会を企画しました。これらの分野では、高分子や繊維がすでに活躍しております。新しい材料の医療分野での応用の新展開をご紹介いただくとともに、ロボット技術やIT技術との融合による新しい医療・ヘルスケア・介護を意識した企画となっております。是非、これらの分野でさらに繊維が活躍するためのヒントを得る場として多数の方がご参加いただけますと幸いです。ご参加お待ちしております。

主催：(一社)繊維学会

日時：平成26年11月27日(木) 10:00~17:00

場所：キャンパスイノベーションセンター(東京都港区芝浦3-3-6)

(交通) JR山手線・京浜東北線 田町駅(徒歩1分)、都営三田線・浅草線三田駅(徒歩5分)

プログラム：(講師敬称略)

1. 10:00~10:10 開会挨拶

2. 10:10~11:00 絹を用いた小口径人工血管ならびに再生医療材料の開発に関する研究

東京農工大学大学院 工学研究院 生命機能科学部門 朝倉 哲郎

3. 11:00~11:50 医療テクノロジーの現状と将来展望

テルモ株式会社 秘書室 産業政策部長 三澤 裕

11:50~13:00 - 昼食休憩 -

4. 13:00~13:50 ロボット外科の可能性

日本ロボット外科学会 理事、ニューハート・ワタナベ国際病院 石川 紀彦

5. 13:50~14:40 ナノファイバーの医療応用と再生医療への展望

帝人株式会社 新事業推進本部 ヘルスケア新事業推進班 兼子 博章

14:40~15:10 - 休憩 -

6. 15:10~16:00 身体的ふれあいを活かした神経学的セラピー用アザラシ型ロボット・パロ

産業技術総合研究所 ヒューマンライフテクノロジー研究部門 柴田 崇徳

7. 16:00~16:50 着衣を介したマルチバイタルセンシングの最前線

東京電機大学 工学部 電気電子工学科 植野 彰規

8. 16:50~17:00 閉会挨拶

(都合により、講演内容や時間を変更させていただくことがございます。ご理解のほどお願いいたします)

定員：100名(定員になり次第締め切らせていただきます)

参加費：(消費税込み)

企業関係会員(含む維持・賛助会員)：15,000円、企業非会員：18,000円

大学官公庁関係会員：10,000円、大学官公庁非会員：14,000円、学生会員：3,000円

学生非会員：5,000円

申し込み：参加申込はホームページ <http://www.fiber.or.jp/jpn/events.html> の応用講座からお願いします。

参加費は現金書留又は銀行振込みでお支払いください。振り込み手数料は振込人にてご負担ください。

現金書留・銀行の領収書をもって本会からの領収書に代えさせていただきます。

(みずほ銀行 目黒支店 普通口座 1894348 繊維学会講演会)

問合せ先：〒141-0021 東京都品川区上大崎 3-3-9-208

(一社)繊維学会 TEL:03-3441-5627 FAX:03-3441-3260

E-mail: office@fiber.or.jp

ホームページ: <http://www.fiber.or.jp/>

第38回先端繊維素材研究委員会講演会・第42回繊維加工シンポジウム — スポーツ産業と繊維素材(オリンピックと繊維) —

1964年の東京オリンピックをきっかけに日本は大きく発展しました。それにあやかり、6年後の東京オリンピックを、繊維産業の大きな転換期にしたいものです。トップアスリートのための競技用ユニホームや競技器具はもとより、関連施設やインフラなど、多くの局面において最先端の繊維素材を展開できる可能性があります。それぞれの関連企業においては、6年後を目指して、もう開発をスタートさせているのではないのでしょうか。今回の講演では、このような開発の基盤となる基礎的な研究から、具体的な応用事例まで幅広く紹介させていただきました。それぞれの開発のコンセプトやヒントを提示できればと考えております。是非ご参加のほどよろしくお願い申し上げます。

主催：(社)繊維学会・先端繊維素材研究委員会(AFMc)、繊維加工研究委員会関西委員会

日時：平成26年11月14日(金) 13:00~17:40

場所：京都大学宇治キャンパス、共同研究棟(化研) 大セミナー室

http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus/map6r_uji.htm

(〒611-0011 京都府宇治市五ヶ庄)JR 奈良線または京阪宇治線、黄檗駅から徒歩5~10分

プログラム：

- | | | | | |
|-------------|------------------------------|----------------|----------------------|-------|
| 13:00~13:50 | 「運動イメージと脳」 | 早稲田大学 | スポーツ科学学術院 | 彼末 一之 |
| 13:50~14:40 | 「スポーツと皮膚血流-発汗連関：衣服着用による修飾作用」 | 神戸女子大学 | 家政学部 | 平田 耕造 |
| 14:40~15:20 | 「高機能スポーツ用品を支える繊維素材」 | (株)アシックス | スポーツ工学研究所 | 森 洋人 |
| 15:20~15:40 | 休憩 | | | |
| 15:40~16:20 | 「スポーツ産業における先端繊維素材の展開」 | 帝人(株)高機能繊維事業本部 | ソリューション技術開発部 | 田中 謙吾 |
| 16:20~17:00 | 「運動パフォーマンス向上ウェア「GENOME」の紹介」 | (株)デサント | ロジスティクス統括部 開発部 基礎開発課 | 山田 恵里 |
| 17:00~17:40 | 「シミュレーション技術を利用したスポーツウェア設計」 | ミズノ(株) | | 島名 孝次 |

定員：約50名(先着順)

参加費：先端繊維素材研究委員会および繊維加工研究委員会会員は無料(法人会員は会2名まで無料、会員3名以降5,000円)、会員外(大学繊維学会員)6,000円、会員外(企業繊維学会員)7,000円、会員外(非繊維学会員)8,000円

申込方法：葉書、FAX または E-mail にて、氏名・所属・連絡先を記入の上、下記宛にお申込みください。

申込先：〒611-0011 京都府宇治市五ヶ庄

京都大学化学研究所

高分子物質科学領域内 AFMc 係、

TEL: 0774-38-3142

FAX: 0774-38-3146 (AFMc 事務局直通)

E-mail: zaibutu2@scl.kyoto-u.ac.jp



繊維学会創立 70 周年記念事業
第 41 回「感性研究フォーラム」講演会
おもてなしの感性

主催：繊維学会研究委員会「感性研究フォーラム」
共催：京都工芸繊維大学繊維科学センター
協賛：色材協会、日本家政学会、日本色彩学会、日本繊維製品消費科学会
日時：平成 26 年 12 月 6 日(土) 13:00~16:00
場所：京都工芸繊維大学(松ヶ崎キャンパス)60 周年記念館 1 階
京都市営地下鉄烏丸線「松ヶ崎駅」下車 徒歩約 8 分
京都工芸繊維大学へのアクセス：http://www.kit.ac.jp/01/01_110000.html
キャンバスマップ：<http://www.kit.ac.jp/01/gakunaimap/matugasaki.html>

プログラム：

13:00	受付	
13:30	開会挨拶	神戸松蔭女学院大学 徳山 孝子 (研究委員会「感性研究フォーラム」委員長)
13:30~15:00	コミュニケーションⅡ(講演) 『おもてなしの感性』 物や言葉の中におもてなしの心遣いがある。 相手の心の中をよめるのが教養のある人だろう。 小さな言葉で傷つく人。小さな物でよろこぶ人。 人のやさしさがうれしいのは万国共通だ。	服飾評論家 市田ひろみ
15:00~15:10	休憩	
15:10~16:00	コミュニケーションⅡ(パネルディスカッション) パネリスト 服飾評論家 京都工芸繊維大学 教授 神戸夙川学院大学 教授	市田ひろみ 澤田美恵子 野本 哲平

定員：100 名(先着受付とさせていただきます)
参加費：1,000 円(当日、受付にてお支払いください)
申込方法：氏名、E-mail を明記の上、お申し込みください。
尚、混雑を避けるため、E-mail のみの受付とさせていただきます。
申込先：E-mail: omotenashi.kansei@gmail.com

繊維学会西部支部 講演会・見学会

日時：平成 26 年 12 月 19 日(金)
9:30~12:15(講演会) 13:15~15:30(見学会)
場所：講演会 旭化成 向陽倶楽部内 〒882-0847 延岡市旭町 6-4100
見学会 ベンベルグ工場

9:30	開会の挨拶	繊維学会西部支部長 九大院工 田中 敬二
講演		
1. 9:35~10:15	最近の複合材料成形技術と応用	北九州高専 永田 康久
2. 10:15~10:55	自己秩序化高分子の分子設計と液晶場における配向制御	大分大工 氏家 誠司

繊維若手研究者賞受賞者表彰式および研究発表

11:05~11:25	表彰式	
11:25~12:15	研究発表	
水中カウンターコリジョン法によるセルロース繊維のナノ微細化はどこから始まるのか?	九大院生資環 宇都宮ひかり	
セルロース結晶構造を構成する分子鎖シートの計算化学研究	宮崎大院農工 宇都 卓也	
希土類錯体を蛍光プローブとして用いた高分子膜の分子運動特性評価	九大院工 青木 美佳	
オリゴ糖鎖クラスター基板による細胞内シグナル伝達系の直接活性化	九大院生資環 上村 富美	
種々のジイソシアネートを基材とした架橋ポリウレタンの網目構造の解析	長崎大院工 大池 浩貴	

見学会
13:15~15:30 ベンベルグ工場

参加要領：氏名、勤務先、連絡先、懇親会および見学会への参加の有無を明記の上、下記連絡先に 11 月 21 日(金)までに E-mail または FAX でお申し込みください。
申込先：〒819-0395 福岡市西区元岡 744 九州大学先導物質化学研究所
繊維学会西部支部 庶務幹事 小椎尾謙
TEL: 092-802-2515 FAX: 092-802-2518 E-mail: kojio@cstf.kyushu-u.ac.jp

第28回東海支部若手繊維研究会

共 催：繊維学会東海支部、日本繊維機械学会東海支部、
日本繊維製品消費科学会東海支部

日 時：平成26年12月13日(土)

場 所：椋山女学園大学

生活科学部棟(名古屋市千種区星ヶ丘元町17-3)

内 容：一般研究発表、情報交換会

プログラム、参加申込等、詳細はホームページをご覧ください。

<http://www.fiber.or.jp/jpn/organization/division/tokai.html>

問合先：〒464-8662 愛知県名古屋市千種区星ヶ丘元町
17-3

椋山女学園大学生生活科学部生活環境デザイン学科
繊維機械学会東海支部 上甲恭平

TEL:052-781-4523 FAX:052-782-7265

E-mail: joko@sugiyama-u.ac.jp

(3) 受講料 29,000円

(4) 講座内容 「繊維ビジネスのためのベーシック講座」

11月15日 9:30~17:00 繊維・糸、織物・編物に関する基礎知識

11月22日 9:30~16:40 布地性能・アパレルに関する基礎知識

11月29日 9:30~16:30 染色・加工の基礎知識、消費者苦情と対応

問い合わせ

日本繊維技術士センター(JTCC)本部事務所

〒564-0062 大阪市中央区備後町3丁目4番9号

輸出繊維会館内6階

TEL:06-6484-6506 FAX:06-6484-6575

E-mail: jtcc@nifty.com

平成26年度繊維ベーシック講座

繊維に関する基礎的で実用的な知識を習得していただく「繊維ベーシック講座」を大阪・福井・名古屋・東京で開催します。

1. 大阪会場

(1) 日程 平成26年11月1日(土)、11月8日(土)、11月15日(土)

(2) 会場 大阪産業創造館

(3) 受講料 29,000円

(4) 講座内容

11月1日 9:30~16:30 繊維、織物に関する基礎知識

11月8日 9:30~16:40 糸、編物、布地性能に関する基礎知識

11月15日 9:30~16:30 染色加工、アパレルに関する基礎知識

2. 福井会場

(1) 日程 平成26年11月8日(土)、11月22日(土)、11月29日(土)

(2) 会場 福井県中小企業産業大学校

(3) 受講料 29,000円

(4) 講座内容

11月8日 9:30~16:30 繊維、織物に関する基礎知識

11月22日 9:30~16:40 糸、編物、布地性能に関する基礎知識

11月29日 9:30~16:30 染色加工、アパレルに関する基礎知識

3. 名古屋会場

(1) 日程 平成26年11月22日(土)、11月29日(土)

(2) 会場 愛知県産業労働センター

(3) 受講料 22,000円

(4) 講座内容 「繊維の基礎知識、徹底講座」

11月22日 9:30~16:50 繊維、糸、織物に関する基礎知識

11月29日 9:30~16:50 編物、染色加工、アパレルに関する基礎知識

4. 東京会場

(1) 日程 平成26年11月15日(土)、11月22日(土)、11月29日

(2) 会場 機械振興会館(東京都港区芝公園)

繊維機械メーカー「村田機械(株)」見学会

主 催：日本繊維技術士センター(JTCC)技術情報・CPD
委員会

日 時：平成26年11月21日(金) 13:00~17:00

場 所：村田機械(株)本社 京都市伏見区竹田向代町136

TEL:075-672-8111

集合場所：本社 正門にて受付後、12:45までに会議室に
集合

見学内容：

1) 見学プログラムの案内と村田機械(株)の紹介

2) 村田機械(株)繊維機械事業部代表のご挨拶

3) 自動ワインダーに関するご講演

4) VORTEX 精紡機の概要と最新技術動向に関するご講演

5) TMT マシナリー(株)の製品と最新技術動向に関するご講演

6) 工場(ショールーム)見学

参加料：無料(事前申し込みが必要)

第44回CPD(繊維技術)講演会

主 催：日本繊維技術士センター

日 時：平成26年12月19日(金) 13:30~16:30

場 所：大阪産業創造館 5F 研修室B

(大阪市中央区本町1-4-5)

プログラム：

・下水道・管路更生技術への繊維の応用

JTCC 会員 城山義見

・ファッションはテクノロジーを求めている

JTCC 会員 中野 廣

・衣料用素材開発の現状と今後 JTCC 会員 松本三男

申込先及び問合せ先：

日本繊維技術士センター(JTCC)本部事務所

〒564-0062 大阪市中央区備後町3丁目4番9号

輸出繊維会館6F

TEL:06-6484-6506 FAX:06-6484-6575

E-mail: jtcc@nifty.com

第33回無機高分子研究討論会

主催：高分子学会 無機高分子研究会
日時：平成26年11月13日(木)、14日(金)
場所：東京理科大学記念講堂 神楽坂キャンパス1号館
17階(東京都新宿区神楽坂1-3)

プログラム：

基調講演：元素ブロック高分子の構造と力学特性
神戸大院工 西野 孝
招待講演：シロキサンからなるナノ材料を用いたハイブリッド高分子薄膜の構築
東北大多元研 三ツ石方也
(講演タイトル未定)
山形大院理工 森 秀晴

問合せ及び申込先：

高分子学会 第33回無機高分子討論会係
TEL: 03-5540-3771 E-mail: nishizawa@spsj.or.jp

高分子材料の耐久性評価に関する講習会

主催：日本材料学会
日時：平成26年11月13日(木) 10:00~16:50
場所：大阪市立大学交流センター(大阪市北区梅田1-2-2-600 大阪駅前第2ビル6階)

プログラム：

高分子材料というもの~その実像と劣化~
中部大学 武田邦彦
高分子の寿命と予測~ゴムでの実践を通して~
ロンドン大学 深堀美英
高分子材料の劣化と安定化 住友化学 北村和裕
自動車用樹脂部品の信頼性設計の考え方
デンソー 安藤幸也
電気製品における高分子材料の耐久性評価
三菱電機 三谷徹男

申込先：日本材料学会「高分子材料の耐久性評価」講習会係
TEL: 075-761-5321 E-mail: jimuj@jsms.jp

第2回産学官連携シンポジウム

文部科学省科研費新学術領域「元素ブロック高分子材料の創出」

主催：「元素ブロック高分子材料の創出」総括班
日時：平成26年11月27日(木) 13:00~17:30
場所：早稲田大学西早稲田キャンパス55号館1F
大会議室(東京都新宿区大久保3-4-1)

プログラム：

・「プリントドエレクトロニクスに向けた透明ハイブリッドフィルムの開発とナノ表面改質」
東北大学 宮下徳治
・「有機エレクトロニクスデバイスの現状と将来展望」
大阪府立大学 内藤裕義
・「ポリマー機能化を支えるハイブリッド技術」
積水化学工業 中壽賀 章

・「メソポーラスシリカのナノ空間材料としての魅力」
太陽化学 南部宏暢
・「元素ブロック高分子材料の工業的応用への可能性」
大阪市立工業研究所 松川公洋
申込及び問合せ先：「元素ブロック高分子材料の創出」事務局
TEL: 082-424-7743 E-mail: office@elemennt-block.org

第29回ジオシンセティックスシンポジウム

主催：国際ジオシンセティックス学会日本支部
日時：平成26年12月3日(水)、4日(木)
場所：(公社)地盤工学会 JGS 会館(東京都文京区千石4-38-2)
テーマ：ジオシンセティックスに関する製品性能、設計・施工事例、試験・調査、研究成果等の研究開発論文及び事例報告の発表
問合せ先：東京大学工学部社会基盤学科 内村太郎
(TEL: 03-5841-6120)
E-mail: uchimura@civil.y.u-tokyo.ac.jp

特別セミナー 「スマート社会を担うエネルギー技術」

主催：(一社)大阪工研協会
日時：平成26年12月9日(火) 10:00~17:20
場所：(地独)大阪市立工業研究所
大講堂(大阪市城東区森之宮1-6-50)
プログラム：
・燃料電池・水素技術開発の動向
産業技術研究所 安田和明
・家庭用燃料電池に搭載された新開発膜・電極接合体(MEA)について
パナソニック 上山康博
・太陽電池の現状と開発動向
豊橋技術科学大学大学院 伊崎昌伸
・実用化が広がるマグネシウム燃料電池
東京工業大学院 矢部 孝
・リチウムイオン電池 現在・過去・未来
旭化成 吉野 彰

問合せ先：大阪工研協会講習会事務局
TEL: 06-6962-5307
E-mail: info@osakaira.com
http://www.osakaira.com

第38回人間-生活環境系シンポジウム (長崎)

主催：人間-生活環境系学会
日時：平成26年12月6日(土)、7日(日)
場所：長崎県立大学シーボルト校(長崎県西彼杵郡長与町まなび野1-1-1)
プログラム：口頭発表、ポスター発表、総会、表彰式

問合せ先：長崎県立大学国際情報学部情報メディア学科
庄山茂子 TEL:095-813-5088
E-mail: shoyama@sun.ac.jp

- ・ナノ粒子の安全性の in vitro 試験方法
産業技術総合研究所 堀江祐範
 - ・ナノゲル工学による新規 DDS の開発
京都大学 秋吉一成
 - ・刺激応答性ポリマー材料によるボソームの機能化と
DDS 応用 大阪府立大学 河野健司
 - ・3D プリンタ マイクロ光造形実験機の紹介
アズマ工機 赤野玉明、上原穂積
 - ・ナノダイヤモンドとその応用(光学シート)
東京工業大学 坂尻浩一
 - ・ナノ粒子分散複合材料の設計と精密合成
甲南大学 赤松謙祐
- 問合せ先：関西大学化学生命工学部 宮田隆志
TEL:06-6368-0949
E-mail: tmiyata@kansai-u.ac.jp

第41回炭素材料学会年会

主催：炭素材料学会
日時：平成26年12月8日(月)～10日(水)
場所：大野城まとかぴあ(福岡県大野城市曙町2-3-1)
プログラム：
特別講演 九州環境管理協会理事長 持田 勲
「水素エネルギーと炭素」特別セッション
インターナショナルセッション(英語での発表)
問合せ先：炭素材料学会年会準備委員会
九州大学先端物質科学研究所
尹(TEL:092-583-7959)
E-mail: yoon@cm.kyushu-u.ac.jp
宮脇(TEL:092-583-8857)
E-mail: miyawaki@cm.kyushu-u.ac.jp

「ANFA 不織布カンファレンス 2014」

主催：日本不織布協会
日時：平成26年11月26日(水)、27日(木) 9:00～16:00
場所：太閤園(大阪市都島区網島町9-10 TEL:06-6356-1110)
プログラム：
26日・旭化成せんの繊維と不織布事業の世界展開
旭化成せんい 高梨利雄
・世界・アジアの不織布市場動向
ANFA 土谷英夫
・中国の不織布産業の最新動向
ANFA シン ヤン
・インドの不織布市場動向
ANFA グプタ サミヤ
・極薄不織布用の熱仕上げカレンダー技術の革新と
応用 チーフウエル エンジニアリング社
ユウアレックス
・中国高速鉄道車両の内装用難燃不織布の研究
南通大学 チャン ユウ
・炭素繊維複合材－歴史と将来－
東レ 小田切信之
・天然由来の濾材設計 台湾大学 コウラン トン
・スチームジェット技術の効果と特徴
クラレクラフレックス 清岡純人

基礎から学ぶレオロジー 「押出成形とレオロジー」

主催：プラスチック成形加工学会
日時：平成26年12月10日(水)
場所：ヒューリック浅草橋ビル3F Room 3
(東京都台東区浅草橋1-22-16)
プログラム：
・レオロジー入門 伸長レオロジー入門
京都大学 増渕雄一
・(仮)ドイツの最新伸長レオロジー計測技術(英語講演)
Gottfert Joachim Sunder
・材料設計とレオロジー
北陸先端科学技術大学院大学 信川省吾
・フィルム成形と伸長レオロジー
プライムポリマー 大槻安彦
問合せ先：(一社)プラスチック成形加工学会 事務局
TEL:03-5436-3822 FAX:03-3779-9698

27日・不織布バッテリーセパレーターの現状
日本バイリーン 田中政尚
・エレクトロスピンクとメルトブローによる合成
HEPA フィルターの開発
ドンファハイテック社 キム ジュンクン
・衛生製品の最新動向とその不織布
ユニ・チャーム 古屋光大
・世界の不織布技術と製品の最新動向
日本不織布協会 矢井田修
問合せ先：日本不織布協会 事務局
E-mail: info@anna.gr.jp

ナノ粒子の安全性と応用の最先端 ～ナノが拓く未来の世界～

主催：日本化学会コロイドおよび界面化学部関西支部
日時：平成26年12月12日(金)
場所：甲南大学フロンティアサイエンス学部7F
レクチャールーム(神戸市中央区港島南町7-1-20)
プログラム：
・安全性試験における粒子径分布
ISO分散安定性評価G日本担当委員長 武田真一